

1 津軽石地区水道水に混入したETBEの状況について

1 現在

- 1) 水道水の臭い・ETBE検出の有無 令和3年11月12日以降、水道水から臭いの発生はありません。ただし、強い降雨があった際に、採水観測箇所及び市取水井戸で、微量ではありますが検出される傾向にあります。

ETBEとは：エチル・ターシャリ・ブチル・エーテルの略。
バイオエタノール等を合成した物質。ガソリンに添加される。

- 2) 水質監視体制 毎週1回、市取水井戸周辺のボーリング観測井戸・市の取水井戸・藤畑(個人宅蛇口)にてETBEの検査をしています。(結果は、市ホームページで公表)

- 3) ミヤコ石油の対応 ガソリン貯油タンク(地下埋設物)が設置後50年を経過していたことから、消防法の基準に基づいて漏洩防止対策工事を令和4年1月末まで行いました。

ガソリン漏洩箇所は、地質ボーリングによる土壌調査により汚染土壌範囲を把握し、令和5年2月から汚染土撤去作業を行っています。

作業内容	令和5年 1月			2月			3月			4月			5月	
	1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	10	20	1	31
スタッド囲い工事	→													
事務所棟ほか解体				→										
矢板施工 (安全確保対策)				→										
汚染土掘削							→							
汚染土置換え (河川土砂を利用)							→							
汚染土搬出							→			→				
解体廃棄物搬出										→				

2 今後の対応

- 1) 水質監視体制 汚染土撤去完了後においても、定期的に市取水井戸周辺のボーリング観測井戸・市取水井戸・藤畑(個人宅)にて採水し、ETBEの検出有無を確認していきます。
- 2) 臭いが発生した時の対応 給水タンク5か所(赤前小学校、荷竹自治会館、津軽石中学校、弘川駅、津軽石公園緊急貯水槽)を設置し、給水車による給水活動を行います。
- 3) ミヤコ石油への市の対応 汚染土砂撤去工事中は、定期的に現地確認を行っています。
- 4) 水道水源の変更 水源変更工事は、令和7年3月の完成予定です。

2 津軽石地区水道水の水源変更にかかる事業進捗状況について

1) 工程表 予定

工種	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
用地交渉, 買収 (浄水池, 送水ポンプ場予定地) A=600m ²	→ 用地交渉	→ 買収手続き		
送水管布設工事 径150~200mm, L=3km	→ 1.1km布設済	→ 1.9km布設予定		
施設整備 浄水池 1池 送水ポンプ場 1棟	→ 詳細設計完了	→ 工 事		● 供用開始 R7年4月

2) 事業費 予定

総事業費	C = 6 6 5 百万円
R 4 事業費	1 6 5 百万円
R 5 事業費	2 2 2 百万円
R 6 事業費	2 7 8 百万円

3) 平面図

